

平成30年3月24日 年次支部協議会全体会、執行部役員会出席者名簿

年次	支部長	幹事長	副支部長等	執行部役員会	懇親会出席
29	中村茂八郎		志邨守夫		
30	堀合辰夫		加藤段一	堀合辰夫	堀合辰夫、加藤段一
31		山口 隆			山口 隆
32	澤幡 仁	猪野邦司			澤幡 仁、猪野邦司
35		田中正一			
36	高橋利夫		石川捷敏、高橋王孔		石川捷敏、高橋王孔
37	庭山 卓	川島豊臣	杉橋良春		
39	白石紀一			柳田晋次	白石紀一、柳田晋次
40	佐々木幸男	古谷泰久	新井嘉昭、新井 孚	佐々木幸男	佐々木幸男、古谷泰久、 新井嘉昭、新井 孚
42	小林定寿	牧 教明	小島輝一	鈴木康二	小林定寿、牧 教明、 小島輝一、鈴木康二
43	龍門海行	清水 正			龍門海行、清水 正
44	吉永匡宏	小畑幸生	松木茂夫	松木茂夫	吉永匡宏、松木茂夫、 小畑幸生
45	相場有二		竹谷光子	相場有二、平岩邦弘	相場有二、室 勝弘
46	半澤 勉	遠藤一義	増田晃次郎、才野智裕	半澤勉、増田晃次郎 才野智裕	半澤 勉、増田晃次郎、 遠藤一義、才野智裕
48	山口隆司	佐藤愛子	榎本真一	佐藤愛子	山口隆司、佐藤愛子、 榎本真一
50			清野 強	清野 強	清野 強
53			関口和仁		関口和仁
54	掛水省三		田辺 勝	掛水省三	掛水省三
55	川島正博	岩崎良三			川島正博、岩崎良三
57	浜田英明	乗兼浩明		浜田英明、乗兼浩明	浜田英明
58	内山 勢	柳 幸季		柳 幸季	内山 勢、柳 幸季
59	林 裕治	堀渕 茂			林 裕治、堀渕 茂
平元		小川 学		小川 学	
平 2	山本 卓	清水裕之	大島章嗣	山本 卓、 清水裕之	山本 卓、清水裕之、 大島章嗣
平 11		久保良太		久保良太	久保良太

◎ 平成30年3月24日 年次支部協議会会議議題

- 議題1. 平成29年度事業計画の進捗状況について
- 議題2. 平成30年度事業計画方針及び予算方針について
- 議題3. 年次支部協議会会則の一部改正について
- 議題4. 平成30年度執行部役員について
- その他

◎ お知らせ

今回は、平成30年度年次支部協議会の総会です。平成30年5月12日(土)15時30分、駿河台記念館550号室にて開催予定です。万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようお願い申し上げます。後日、案内状をお送りいたします。(事務局より)

I-1 平成29年度年次支部協議会事業報告(会議等)

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

基本方針(会則第2条)

1. 年次支部との連携、親睦を図るとともに中央大学及び学会の施策を支援・推進する。
2. 中央大学及び学会の発展・興隆に寄与する。
3. 新支部の結成支援を行う。

①年次支部協議会全体会議

	日時	場所	議題
第1回	平成29年5月20日(土) 15:30～17:20	550号室	H28年度事業報告及び決算報告承認の件 H29年度事業計画案及び予算案承認の件 ホームカミングデー実施内容
第2回	平成29年12月16日(土) 15:50～17:20	550号室	H29年度事業計画の進捗状況報告と今後の計画 H30年度幹事推薦状況報告
第3回	平成30年3月24日(土) 15:40～17:30	550号室	H29年度事業計画の進捗状況報告 H30年度事業計画方針及び予算方針、会議日程 会則の一部改正案、H30年度執行部役員案承認の件

②執行部役員会

	日時	場所	議題
第1回	平成29年4月20日(木) 19:30～21:00	550号室	H28年度事業報告及び決算報告、H29年度事業計画案 及び予算案、ホームカミングデー実施計画
第2回	平成29年5月20日(土) 14:00～15:20	310号室	H28年度事業報告及び決算報告の件 H29年度事業計画案及び予算案の件 ホームカミングデー実施内容
第3回	平成29年9月7日(木) 19:30～21:00	715号室	H29年度事業計画の進捗状況報告(1)
第4回	平成29年12月16日(土) 14:00～15:30	550号室	H29年度事業計画の進捗状況報告(2) H30年度幹事推薦状況報告、会議日程等の変更
第5回	平成30年2月22日(木) 19:30～21:00	715号室	会則の一部改正案、H30年度執行部役員交代(案) H30年度会議予定
第6回	平成30年3月24日(土) 14:00～15:40	550号室	H29年度事業計画の進捗状況報告(3) H30年度事業計画方針及び予算方針、会議予定 会則の一部改正案、H30年度執行部役員案

③委員会活動

・学員交流委員会、・IT推進委員会、・学生支援委員会、・大学支援委員会、・広報部会及び
スポーツ応援団委員会による活動の実施予定及び実施状況報告による

④懇親会

上記全体会議後、懇親会を記念館1階の「プリオール」、御茶ノ水「万世」にて開催
・H29年5月20日 38名 ・H29年12月16日 39名 ・H30年3月24日 名参加

I-2 平成30年度年次支部協議会事業計画(会議日程等)

①年次支部協議会全体会議

	日時	場所	議題
第1回	平成30年5月12日(土) 15:30～17:20	550号室	H29年度事業報告及び決算報告承認の件 H30年度事業計画案及び予算案承認の件 ホームカミングデー実施内容
第2回	平成30年12月15日(土) 15:30～17:20(予定)	550号室	H30年度事業計画の進捗状況報告の件
第3回	平成31年3月16日(土) 15:30～17:20(予定)	550号室	学員会役員選任の件 H30年度事業計画の進捗状況報告の件 H31年度事業計画方針及び予算方針の件

②執行部役員会

	日時	場所	議題
第1回	平成30年4月19日(木) 19:30~21:00	550号室	H29年度事業報告及び決算報告 H30年度事業計画案及び予算案 ホームカミングデー実施計画
第2回	平成30年5月12日(土) 14:00~15:20	550号室	H29年度事業報告及び決算報告の件 H30年度事業計画案及び収支予算案の件 ホームカミングデー実施内容
第3回	平成30年9月20日(木) 19:30~21:00(予定)	550号室	H30年度事業計画の進捗状況報告(1)
第4回	平成30年12月15日(土) 14:00~15:20(予定)	550号室	H30年度事業計画の進捗状況報告(2)
第5回	平成31年1月17日(木) 19:00~21:00(予定)	550号室	学会役員候補案
第6回	平成31年2月21日(木) 19:00~21:00	550号室	学会役員選任の件 会議日程
第7回	平成31年3月16日(土) 14:00~15:20(予定)	550号室	学会役員公表 H30年度事業計画の進捗状況報告(3) H31年度事業計画方針及び予算方針

③部活動

・広報部 ・大学・学会交流部 ・学生後援部
・事務局 (1局3部制)

④懇親会

・全体会議後、会員交流、親睦のための懇親会を開催する。

年次支部協議会平成30年度予算編成・案について

1. 収入の部

- (1) 年会費は前年度を基に計上。
- (2) 懇親会費は参加者負担金を計上。(3回分)
- (3) 事業活動費は広報部の年次支部ニュース発行費に対する助成金を見込んで計上。
- (4) その他の収入は、普通預金利息を計上。

2. 支出の部

本年度予算は、年次支部協議会会則の一部改訂に伴い勘定科目の新設及び統廃合を行った。

- (1) 事務局費は年次支部協議会運営に関わるは共通経費科目を計上した。
 - ① 会議会合費は会議実施経費および懇親会費(個人負担)と助成金を計上。
 - ② 通信費は年次支部協議会、執行役員会、全体会議等の開催通知送料他を計上。
 - ③ 印刷費は会議等の資料および封筒の印刷代を計上。
 - ④ 消耗品費は年次支部協議会事務局用文房具費等を計上。
 - ⑤ 手数料は諸費用の支払い及び預金引出手数料等を計上。
 - ⑥ IT化推進部門は年次支部協議会として全ての卒業年次支部とのネットワークの構築
- (2) 事業支援費
 - ① 大学・学員交流部は新卒支部の設立支援、年次支部・近接支部間交流への積極的な働きかけを行うための経費と大学が行うホームカミングデー参加協力、落語会の開催及びその支援等として。
 - ② 学生後援部は「中央大学キャリアセンターの協力のもと、現役学生のキャリア形成(就職活動)を考える上で重要な情報提供をOBの協力による基調講演、レクチャー、進路相談会等を通じて行い、自信を持って学生が社会に踏み出せる支援事業を今年も実施する。
 - ③ IT化推進部門は年次支部協議会として全ての卒業年次支部とのネットワークの構築および、その情報化支援活動費として。
 - ④ 広報部は年2回、10月と3月(卒業生配布用含む)に発行する年次支部協議会ニュースの作成費として。

* 平成29年度実施形態を参考にして、新たな組織形態に従って予算案を作成した。*

平成30年度年次支部協議会収支予算案

収入の部		支出の部	
年会費	300,000	事務局費	960,000
懇親会費	610,000	会議会合費	745,000
事業活動費	700,000	通信費	60,000
広報部費(会報発行費)	700,000	印刷費	40,000
		消耗品費	10,000
その他の収入	20	手数料	5,000
利息収入	20	IT化推進部門費	100,000
		大学・学員交流部費	165,000
		学生後援部費	255,000
		広報部費(会報発行費)	700,000
小計	1,610,020	小計	2,080,000
前期繰越金	2,935,247	次期繰越金	2,465,267
合計	4,545,267	合計	4,545,267

平成30年3月24日

年次支部協議会

会計幹事 平岩弘邦

平成 30 年 3 月 24 日

平成 29 年度・学員交流委員会事業計画の進捗状況について

1. 今年度の事業概要

- ① 学員会本部と連携し、新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等への協力）と設立後の活動のフォロー。
 - ・本件は当委員会の範疇を超えた年次支部協議会および学員会のマターまで及ぶもの。当委員会としてはフレームが出来上がった段階で各年次支部に対して協力・支援を呼びかける位置にあり、積極的に対応予定である。
- ② 大学支援委員会との 2 委員会合同企画の実施。

経済学部伊藤ゼミ他とのプレゼン大会応援等、中大現役学生との交流の実現。

 - ・30/2/3 日(土)経済学部、商学部プレゼン発表会を実施済。参加者 52 名(内学生・先生 21 名)。本イベントは先生から学生にとって絶好の機会との支持あり。経済学部伊藤教授ゼミ、商学部久保准教授ゼミ。費消した決算額 15,000 円。
- ③ T&E イベントを通じ、年次支部間の交流の実現。
 - ・落語会、BBQ(バーベキューパーティ)、セミナー等
 - ※上記イベントは支部内外の中大人脈をフル活用し実現する予定。
 - ※特に設立間もない支部への参加呼びかけとその実現を図る。
 - ・29/7/22 日(土)中大落語会実施済。参加者 59 名。費消した決算額 10,000 円。
 - 29/8/26 日(土)勝浦 BBQ 実施済。参加者 6 名。費消した決算額 24,200 円。
 - 勝浦 BBQ は今回で 2 回目。58 年、60 年卒の中大生が手がけたガーデンでの海鮮 BBQ。今回は大学支援委員会よりパンフルート奏者 1 名を招待し趣向を工夫した。
 - ・その他、各種イベントの案内を電子メールで発信している。
 - Ex 中大落研が関係する落語会、各種セミナー等等である。
- ④ 多摩キャンパス移転後最初の 1~4 年生である 57 ネット、58 会、1984 会、60 年会のうち 2~4 支部を単位とするユニットを形成し、それを 1 セルとして小集団の活動単位としていく方針は今年度も指向していく方向とする。
 - ・ユニット結成については 57、58、1984(59)の同意を得た。60 会は現状音信不通なため、今後接触ある 63 会とのユニットを指向していく。
 - ・箱根駅伝終了後の祝勝会実施(57 ネット、1984 会、出版白門会)

2. 事業予算 50,000 円(既費消額 49,200 円)

以上

学生支援委員会 打ち合わせ

2017年度 学生支援委員会 事業実施報告

【当日のイベントについて】

日時	2018年2月25日(日) 10:00~12:30 10:00~10:30 事前ガイダンス(目的・社会人紹介) 10:30~12:30 進路相談会(30分×4セット)
場所	中央大学 多摩キャンパス 文学部棟
参加者	学生:約40名 協力社会人:4名(社会人5年目×2名、社会人10年目×2名)
その他	中央大学キャリアセンター様にご協力いただいた。(担当:佐藤様)

【アンケート結果一覧】

学年	1学年:2名 2学年:4名 3学年:20名 4学年:1名
学科	法:5名 経:8名 商:3名 文:9名 総政:4名
満足度	5:17名 4:10名 3:1名 2:0名 1:0名
フリーコメント (一部)	・社会人と話す機会が少ないため、非常に有意義な時間であった ・事前に参加する社会人の情報を知りたい ・女性社会人のお話も聞きたかった

振り返りと今後に向けた示唆

【これまでの振り返り】

2014年度時点でもとらえた課題に対して、これまで取り組んできました。

No	概要	課題など	対応	実績
1	戦略	委員会活動として掲げている目標がなかった	ミッション・ゴール・ターゲットの整理	左記の設定
2	事業	大学生の「就職相談」の場として、集客がはかれていた	「キャリアを考える」場にプログラムを再構築	左記および上記戦略に資するコンテンツの作成
3	運営	学生組織に依存しており、イベント開催の調整が難航していた	社会人が中心となり、大学とも連携する体制を構築	キャリアセンターとの協力関係の構築

【今後に向けた示唆】

- ・大学との連動:大学側でも低学年支援が必要と認識。対応は不十分。
⇒当委員会より2017年度事業として提案するも、時期がターゲットにあわず。
- ・社会人協力者の拡充:職種、性別、働き方などの多様性が必要。有名企業が大事なのではなく、考えられる人が重要。

2018年3月24日

企 画 書

1. 事業名称 「IT化推進」プロジェクト
2. 事業主体 中央大学年次支部協議会
IT化推進委員会 責任者氏名 小川 学
3. 事業の目的
 - ①IT化することにより年次支部協議会メンバー間の連絡を容易にする。
 - ②各年次支部の活動の活性化を支援する。
 - ③年次を跨った活動の活性化を支援する。
4. 事業概要
 - ①年次支部協議会メンバーに対する連絡網の構築
 - ②各年次支部のホームページ作成支援
 - ③年次を跨った共通ホームページの作成
5. 実施時期 2018年1月1日～2018年12月31日

6. 収支予算（案）

収入	概要	金額	支出	概要	金額
前年度繰越		0	交通費		0
年次支部拠出金		83000	会議費		0
学生会事業費		0	通信費		66,000
会費		0	Data 増加費		12,000
			Scan 費用		5,000
合計		0	合計		83,000

7. 期待される成果（過去の実績）

- ①郵便費用が削減されるので、通信費のコスト削減
- ②各年次支部内の告知が容易になるので、年次支部内活動の活性化が図れる。
- ③年次を跨った支部間の告知が容易になるので、年次を跨った活動の活性化が図れる。

8. 事業費申請額 83,000 円

※詳細計画書添付（無）

2017年度大学支援委員会事業報告（V）

※大学支援委員会の目的

『中央大学を支援し、ブランド力の圧倒的な向上に寄与する。』

1. 大学のグローバル化推進を支援する。…国際的に活躍できる人材の育成支援
2. 一流の経済人を輩出できるよう学生の支援を行う。⇔「建学の精神：実地応用の素を養う」
3. オリンピックや、箱根駅伝で活躍できるよう学生スポーツの応援を行なう。
(スポーツ応援団と連携協力)

1. グローバル化支援（※）……V1

中央大学国際センターと連携し、大学や学生が行う英語プレゼンテーション大会や国際フェアに協賛する。

日本人学生と留学生の自然な文化交流の支援を行う。お祭りや音楽会、スポーツ大会等の後援を通じて、それぞれの国の理解や学生同士の交流が進むよう支援する。

※10月8日（日）国際寮の運動会（インターナショナル・スポーツ・フェスティバル）に協賛飲料120本（購入）やタオル、Tシャツ、ボールペン、ナップザック、ウインドブレーカー等（学員数名より提供）をプレゼント（学生約70人余りが参加、喜ばれた。）……※記事添付

2. 実地教育支援（※）……V2

(1) 経済学部ゼミ連合会（学生団体）との協力連携

「経済学部プレゼンテーション大会」（毎年11月）に向け、人的支援や協力を行なう。

※11月11日（土）「経済学部ゼミ連プレゼンテーション大会」決勝大会見学

(2) 商学部のゼミ連との協力連携も視野に入れ推進する。

※11月18日（土）「商学部ゼミ連1年、2年、3年（予選）プレゼンテーション大会」見学

※12月16日（土）「商学部ゼミ連プレゼンテーション大会」決勝大会（3・4年生）見学

(3) そのほか、社会的な課題への取り組みや地域貢献を行なう学生団体へ協力を行なう。

※2018年2月3日（土）……ゼミ連合会発表ゼミの中から、学員向けに発表会を開催
経済学部伊藤伸介ゼミ2チーム、商学部久保知一ゼミ2チーム参加……※記事添付
学生・先生21名、学員31名、計52名参加、昼食会46名参加……大盛況だった。

3. 箱根駅伝支援（※）（スポーツ応援団との連携）……V3

箱根大平台に「闘魂たぎる火と燃えよ！」の横断幕設置し応援する。……※写真添付

※6月18日（日）全日本駅伝大会予選会（浦和駒場競技場）応援……12位で落選

※10月14日（土）箱根駅伝予選会（立川昭和記念公園）応援……3位で突破

※11月～12月 信州りんご、スポーツドリンク等の差し入れを実施。（広域学員と連携）

11月～12月 横断幕設置の承諾を地主様から取りつける。（平塚在住学員の協力）

12月24日 大平台に横断幕を設営、1月3日撤去（小田原在住学員の協力）

1月2日、3日 5区・6区の大平台（48会）、宮ノ下（50会）等、全区間で応援を行なう。

1月3日 箱根駅伝選手慰労会（陸上競技部OB会・駅伝を強くする会共催）が後樂園飯店で開催され、年次支部関係者数名が参加した。

※大学支援活動を、学員が連携や協力して行うことにより共感者が増え、大学を支援する人の輪が広まった。※

行動する知性。

・交通アクセス ・キャンパスマップ ・お問い合わせ ・資料請求 ・サイトマップ

図書館

Language



本文プリント 全画面プリント 文字サイズ 標準 大

カスタム検索



大学紹介	学部・大学院	研究	国際連携・留学	社会・地域貢献	学生支援	キャリアサポート
① 中央大学で学びたい方	② 在学生の方	③ 保護者の方	④ 卒業生の方	⑤ 一般・地域の方	⑥ 企業・研究者の方	

ホーム 国際連携・留学 新着ニュース 国際交流運動会を開催しました

国際連携・留学

- ・新着ニュース
- ・イベント
- ・留学希望者
- ・外国語講座・資格テスト
- ・外国人留学生
- ・国際寮
- ・異文化交流ラウンジ
- ・海外とのネットワーク
- ・国際協力・国際貢献
- ・プログラムやイベント
- ・研究者交流
- ・国際化推進の体制
- ・刊行物
- ・関連リンク

お問い合わせ

国際センター
〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1

☎ 042-674-2211

▶ お問い合わせはこちら

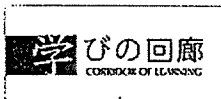
☎ 042-674-2212

(入試に関するお問い合わせ専用電話番号)

▶ お問い合わせはこちら



中央大学が運営協力している
国際アカデミック・インパクト Japan



国際連携・留学

新着ニュース

2017年10月09日

国際交流運動会を開催しました

2017年10月8日(日)、本学第二体育館アリーナで国際交流運動会を開催しました。

このイベントは、来日間もない留学生に早く日本や中央大学での生活に慣れてもらいたいという思いから、国際寮に住む4名の学生、倉本康平さん(文2・運動会実行委員長)、渡邊圭亮さん(法3・聖蹟桜ヶ丘国際寮寮長)、嵯峨大輝さん(法2・多摩平国際寮寮長)、神子千晶さん(経2・多摩平国際寮副寮長)が中心となり企画・運営を行いました。

日本らしい種目のパン食い競争、二人三脚、ドッジボール、借り物競争、大縄跳びを実施し、初めて体験する留学生も多く、珍プレーなどで笑いのあふれる競技風景でした。

日本人学生・留学生ともに熱いレースを繰り広げ、楽しく汗を流していました。

なお、現在、多摩平国際寮では1名の追加入寮生を募集しています(応募締切10月13日必着)。日常生活を通して留学生と交流をしたいという方はぜひ、ご応募ください。

国際寮追加入寮案内



意外に苦戦したパン食い競争



2人で息を合わせてイチニ・イチニ!



3分間での最高記録は26回でした



一覧へ戻る

いいね! 8

ツイート



V-1

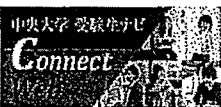
ホーム > 学部・大学院 > 学部学科 > 経済学部 > 新着ニュース
 > 経済学部 伊藤伸介ゼミと商学部 久保知一ゼミが中央大学学員会 年次支部協議会 大学支援委員会と学員交流委員会の共催「中央大学経済学部、商学部学生からの提案発表会」にて発表を行いました

- 学部・大学院
- 学部学科
- 経済学部
- ・新着ニュース
- ・イベント
- ・経済学部公式PR動画
- ・経済学部長挨拶
- ・学部案内
- ・経済学部の特色
- ・学科紹介
- ・教員紹介
- ・学費・奨学金
- ・進路・就職
- ・E-person
- ・入試・入学案内
- ・事務室からのお知らせ
- ・経済学部ガイドブック
- ・関連リンク

お問い合わせ
 経済学部
 〒192-0393
 東京都八王子市東中野742-1

☎ 042-674-3311

▶ お問い合わせはこちら



学部
経済学部

2018年02月08日

経済学部 伊藤伸介ゼミと商学部 久保知一ゼミが中央大学学員会 年次支部協議会 大学支援委員会と学員交流委員会の共催「中央大学経済学部、商学部学生からの提案発表会」にて発表を行いました

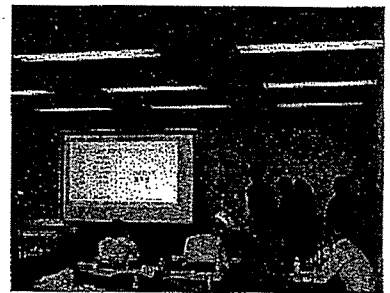
2018年2月3日(土)に、中央大学駿河台記念館550号室において、中央大学学員会 年次支部協議会 大学支援委員会と学員交流委員会の共催で「中央大学経済学部、商学部学生からの提案発表会」が開催され、経済学部 伊藤伸介ゼミと商学部 久保知一ゼミによる発表が行われました。

経済学部 伊藤ゼミの3年生は、「中央大学受験生増加大作戦」と「高幡不動産商店街の活性化計画」のテーマでプレゼンテーションを行いました。これらはいずれも、2017年11月に本学で開催された経済学部プレゼンテーション大会で発表されたものです。

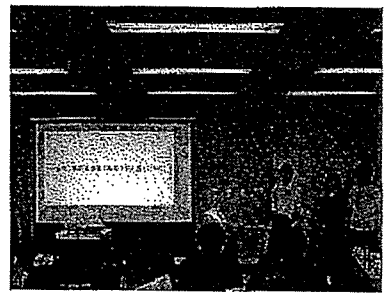
「中央大学受験生増加大作戦」に関する報告では、動画広告のあり方を検討した上で、高校生へのアンケート調査に基づいて、ゼミ生が作成した経済学部生の学生生活や本学経済学部の特徴に関するプロモーションビデオの概要について発表が行われました。また、「高幡不動産商店街の活性化計画」に関する報告においては、中央大学周辺の高幡不動産エリアにおける魅力の再発見を目指して、アンケート調査やインタビュー調査をもとに、ゼミ生が作成したキャッチコピーや高幡不動産エリアのマップの作成に関する報告がなされました。

一方、商学部 久保ゼミの3年生は、「なぜシェアリングエコノミーの普及が進まないのか～日本人の「信頼」に着目して～」と「顧客間コンフリクトのマネジメント」のテーマでプレゼンテーションを行いました。これらは、2017年11月と12月に本学で開催された商学部プレゼンテーション大会で発表されました。「なぜシェアリングエコノミーの普及が進まないのか」に関する報告では、日本人の信頼が米国人の信頼とは異なる点に着目し、統計分析の結果に基づいて、日本人の本質や文化的背景に合わせた新たなサービスのあり方について、サービスとそれを運営する事業者の両面から考察しました。

また、「顧客間コンフリクトのマネジメント」に関する報告においては、アンケート調査によるデータ分析をもとに、同一ブランドのライトユーザーとヘビーユーザーとの間に生じるコンフリクトをマネジメントする方法を提案しました。



「受験生増加大作戦」



「高幡不動産活性化」



「シェアリングエコノミー」

TOP

V-2①

年次支部協議会広報部 平成29年度事業計画（進捗状況）

平成30年3月24日

1、 事業の名称

年次支部協議会 会報の発行 及び 年支部協議会広報活動

2、 事業主体

中央大学学員会年次支部協議会 広報部会(担当責任者 佐藤愛子広報部長)

3、 事業目的

- (ア) 学員全体の緊密なネットワークを構築するために、定期的に会報を発行しホームページの推進と共に、年次支部協議会の広報活動を活発化させ、中央大学の貢献に寄与すること
- (イ) 学員や学生への広範囲な取材を通じ、年次、地域、職域を超えて参加出来る様な大学関連行事、支部活動の様々な情報を提供することにより、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする
- (ウ) 現役学生に対する就職支援、進路相談の情報を提供する
- (エ) 新卒会員に対しての学員会及び年次支部協議会のPRや多くの著名なOB会員の紹介シリーズの掲載も含め、卒業後のサポート体制作りを推進していく

4、 事業概要

<会報発行実施時期> 平成29年度は、29年10月、30年3月頃に2回/年発行予定

(主に10月は年次・地域支部等の学員会会員対象、3月は新卒業生対象)

- (ア) 年次支部協議会事業計画、活動報告、各委員会活動報告（IT推進委員会 HPと連携）
- (イ) 各支部活動状況紹介、イベント・交流会案内
- (ウ) HCD等の大学関連行事、学生スポーツ応援、演奏会、講演会等の案内、活躍しているOB、学生・サークル等の紹介
- (エ) 学員OBへの学生支援（就活・復興支援などボランティア活動）の協力依頼
- (オ) 従来は学員時報、各支部の会報に委ねてきたが、他の情報誌に紹介されないようなオリジナルな記事、会員の声を掲載する

5、 期待される成果

- (ア) 学員及び準会員に年次支部への加入を促し、年次支部協議会の存在認識や学員会の活動内容の理解がない多くの一般会員にPR効果が期待できる
- (イ) 会報発行が年次や地域を越えた一般会員、若い世代への幅広い情報提供になり、交流機会の増加、学生への支援活動等の宣伝が、学員及び準会員の大学ネットワーク構築にも貢献出来る

6、 会報発行予算案

会報発行部数：

- 10月発行 1000部（配布先：各支部 500部、本部配布 300部、その他 200部）、
- 3月発行 7500部（配布先：準会員 6500部、この他10月発行と同じ部数）

会報発行予算：

・総額 700,000円の内

- ① 8号（1000部）250,000円 ② 9号（7500部）420,000円 ③ 会報送料他 30,000円
（学員会本部への支援申請額：700,000円）

現 行 改 正 案

	現 行	改 正 案	備 考
(名称)			1/3
第 1 条	<p>本会は、中央大学学員会年次支部協議会（以下「年次支部協議会」という。）と称する。</p>	<p>本会は、中央大学学員会年次支部協議会（以下「年次支部協議会」という。）と称する。</p>	
(目的)	<p>本会は、中央大学学員会（以下「学員会」という。）の年次支部との連携・親睦を図るとともに、中央大学及び学員会の施策を支援・推進し、もって中央大学及び学員会の発展・興隆に寄与することを目的とする。</p>	<p>本会は、中央大学学員会（以下「学員会」という。）の年次支部との連携・親睦を図るとともに、中央大学及び学員会の施策を支援・推進し、もって中央大学及び学員会の発展・興隆に寄与することを目的とする。</p>	
(組織)	<p>本会は学員会によって構成・組織する。</p>	<p>本会は学員会によって構成・組織する。</p>	委員会制度の事業部組織への移行に伴う新組織機関の名称を明文化する。
(幹事)	<p>各年次支部から、本会に支部長を含め 4 名以内の幹事を推薦し任期は 2 年（支部長が交替した場合は、任期の残余期間）とする。ただし、再任を妨げない。</p>	<p>各年次支部から、本会に支部長を含め 4 名以内の幹事を推薦し任期は 2 年（支部長が交替した場合は、任期の残余期間）とする。（以下削除）</p>	再任規定を削除する。
(役員)	<p>幹事の中から、任期 2 年の代表幹事 1 名を選出する。</p>	<p>幹事の中から、任期 2 年の代表幹事 1 名以内、事務局長 1 名、事務局長 2 名以内、広報部長 1 名、会計幹事 1 名及び会計監査 1 名（以下「執行部役員」という。）を選出する。ただし、各年次支部から執行部役員は 3 名以内とし、1 任期に限り再任を妨げない。</p>	各事業部の責任体制を明確化する。
第 5 条	<p>代表幹事は、各年次支部の幹事の中から候補者を選考して年次支部協議会にて承認を受けた後、年次支部協議会の業務を主宰する。</p>	<p>代表幹事は、各年次支部の幹事の中から候補者を選考して年次支部協議会にて承認を受けた後、年次支部協議会の業務を主宰する。</p>	
2			
3			
4			
(1)			

現 行	改 正 案	備 考
<p>(2) 事務局長は、年次支部協議会の運営を円滑に行うものとし、事務局次長は事務局長を補佐する。</p> <p>(3) 広報部長は、年次支部協議会及び年次支部の広報を行う。</p> <p>(4) 会計幹事は、年次支部協議会の予算及び決算業務を行う。</p> <p>(5) 会計監査は、年次支部協議会の監査を実施する。</p> <p>5 年次支部活動の円滑化・活性化のため、顧問若干名を置くことができる。顧問の任期は2年とし、<u>再任を妨げない。</u> (年次支部協議会)</p> <p>第6条 年次支部協議会は、第2条に定める目的達成のための必要事項を審議する。ただし、幹事は代理人をもって出席することができる。</p> <p>2 年次支部協議会は、執行部役員会を置き、執行部役員会の運営については別途規約を定める。</p> <p>3 年次支部協議会は、学校法人中央大学の評議員並びに中央大学学員会の副会長、常任幹事、幹事及び会計監事（以下「評議員等」という。）を推薦するため選考委員会を置く。選考委員会の委員は、代表幹事が指名し、選考委員会の運営及び評議員等の推薦結果を年次支部協議会に報告し、承認を得るものとする。</p> <p>4 年次支部協議会は、必要に応じて新たな委員会を置くことができる。委員会の運営、目的は、年次支部協議会に諮るものとする。</p> <p>(事業報告、事業計画、予算及び決算)</p> <p>第7条 本会の事業報告、事業計画、予算及び決算は、会計年度終了後3箇月以</p>	<p>(2) (現行通り)</p> <p>(3) 広報部長は、年次支部協議会、<u>年次支部等の広報業務を主宰し、副部長は部長を補佐する。</u></p> <p>(4) 大学・学員交流部長は、中央大学、学員会本部及び年次支部間の交流を通じて必要となる支援業務を主宰し、<u>副部長は部長を補佐する。</u></p> <p>(5) 学生後援部長は、<u>学生の進路、生活、スポーツ等に関して必要とされる支援業務を主宰し、副部長は部長を補佐する。</u></p> <p>(6) 会計幹事は、年次支部協議会の予算及び決算業務を行う。</p> <p>(7) 会計監査は、年次支部協議会の監査を実施する。</p> <p>5 年次支部活動の円滑化・活性化のため、顧問を置くことができる。顧問の任期は2年とする。<u>(以下削除)</u> (年次支部協議会)</p> <p>第6条 (現行通り)</p> <p>2 (現行通り)</p> <p>3 (現行通り)</p> <p>4 年次支部協議会は、<u>各部長統括のもとに必要に応じて部員を置くことができる。部員は、年次支部協議会幹事のほか学員会会員及び中央大学学生を対象に広く求めることができる。</u> (事業報告、事業計画、予算及び決算)</p> <p>第7条 (現行通り)</p>	<p>2/3</p> <p>事業部の役割を明確化する。 (4)、(5)を追加する。</p> <p>定数を定めず、再任規定を削除する。</p>

現 行	改 正 案	備 考
<p>内に開催する年次支部協議会において承認を得るものとする。</p> <p>(経費)</p> <p>第8条 本会の経費は、各年次支部の分担金及び寄付金をもって充てる。</p> <p>2 前項の分担金は、年額1万円とする。</p> <p>(議決)</p> <p>第9条 年次支部協議会において議決する場合は、1支部1票の出席幹事の過半数をもって決定する。</p> <p>(年度)</p> <p>第10条 本会の会計年度は、毎年4月1日より3月31日までとする。</p> <p>(会則の改正)</p> <p>第11条 本会則の改廃は、年次支部協議会の議決によるものとする。</p> <p>2 第9条の規定に拘わらず、前項による議決は、1支部1票の出席幹事の3分の2以上の多数をもって決定する。</p> <p>附 則</p> <p>この会則は、平成26年4月1日から施行する。</p>	<p>(経費)</p> <p>第8条 (現行通り)</p> <p>2 (現行通り)</p> <p>(議決)</p> <p>第9条 (現行通り)</p> <p>(年度)</p> <p>第10条 (現行通り)</p> <p>(会則の改正)</p> <p>第11条 (現行通り)</p> <p>2 (現行通り)</p> <p>附 則</p> <p>この会則は、平成26年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この会則は、平成30年4月1日から施行する</p>	<p>3/3</p>

中央大学学員会年次支部協議会執行部役員(案) 一覧

平成30年4月1日

役 職	氏 名	備 考
代表幹事(募金推進)	半澤 勉	昭46
副代表幹事(総括、広報)	堀合 辰夫	昭30
副代表幹事(事務局)	小竹 正倫	昭39
副代表幹事(学生後援)	佐々木幸男	昭40
副代表幹事(大学・学員交流)	鈴木 康二	昭42
副代表幹事(学生後援)	才野 智裕	昭46
副代表幹事(広報、事務局)	佐藤 愛子	昭48
副代表幹事(大学・学員交流)	掛水 省三	昭54
副代表幹事(大学・学員交流)	乗兼 浩明	昭57
副代表幹事(事務局、IT推進)	小川 学	平 1
広報部長	佐藤 愛子	昭48
広報部副部長	柳 幸季	昭58
大学・学員交流部長	掛水 省三	昭54
大学・学員交流部副部長	浜田 英明	昭57
学生後援部長	才野 智裕	昭46
学生後援部副部長	久保 良太	平11
事務局長(事務総括、募金推進)	清野 強	昭50
事務局次長(IT担当)	小川 学	平 1
事務局次長(事務担当、募金推進)	清水 裕之	平 2
会計幹事	平岩 弘邦	昭45
会計監査(ホームカミング、募金推進)	相場 有二	昭45
顧問	柳田 晋次	昭39
顧問	松木 茂夫	昭44
顧問	室 勝弘	昭45
顧問	山城 博光	昭45
顧問	増田 晃次郎	昭46
顧問	小田 眞一	昭48
顧問	山本 卓	平 2

